

わたなべ邦子レター

〔発行〕わたなべ邦子事務所 京都市伏見区醍醐和泉町47内海ビル2F 〔発行責任〕渡辺幸男 〔編集〕楽遊舎 平成21年3月



京都府は、平成21年度の一般会計予算案を8482億円としました。不況で府税が530億円減収すると予測されるなか、前年を上回る予算を編成しています。山田知事は「社会の絆が薄れ、雇用や経済問題などで冷え切った京都を温めるには思い切った予算編成が必要」と考え、「10の京都政策」を掲げています。

そのなかには、府民の意見を聞いて地域や市町村と連携して道路や河川の安全対策を行う「府民公募型安心・安全整備事業」や、2年後に介護療養病床が廃止されることを受け、療養病床総数を確保するために「お年寄りのための病床緊急確保対策」を、全国に先駆けて導入する案が上げられています。

また府内の中学1年生に小学校までの基礎を振り返り学習させる「夏季集



山田知事を先頭に、府民の皆さまと私たち京都府議会議員が力を合わせて、この不景気を乗り越えましょう

平成21年度 京都府 一般会計 予算案

府民の皆さまが温まって、明日の活力を得られるために
1円も無駄にしません。景気や暮らしを活気づける8482億円

山田知事は「社会の絆が薄れ、雇用や経済問題などで冷え切った京都を温めるには思い切った予算編成が必要」と考え、「10の京都政策」を掲げています。

そのなかには、府民の意見を聞いて地域や市町村と連携して道路や河川の安全対策を行う「府民公募型安心・安全整備事業」や、2年後に介護療養病床が廃止されることを受け、療養病床総数を確保するために「お年寄りのための病床緊急確保対策」を、全国に先駆けて導入する案が上げられています。

また府内の中学1年生に小学校までの基礎を振り返り学習させる「夏季集

12月定例会 京都府第2次緊急経済対策を可決

- 1 中小企業の緊急経営支援**
中小企業緊急資金対策融資を創設しました。現行のあんしん借換融資に比べて、さらに金利が0.1%優遇。これで府内中小企業者の約6割をサポートすることができま
- 2 府民の生活相談を強化**
多重債務者向け相談・こころの健康相談窓口 弁護士無料相談を府北・中・南部で隔週実施。消費生活安全センターの相談窓口を時間延長。また精神保健福祉総合センターに専門相談員を配置し、電話や面接での相談を実施しています。
- 3 安心実現のため 緊急基盤整備**
河川浸水被害・道路災害防除・踏切安全・道路構造物保全や、府内高速道路整備など防災・ネットワーク緊急基盤整備を行います。また地域に密着した河川の避難路の整備や、道路舗装・改修を実施します。

3つの緊急対策で 75億800万円
【一般会計補正予算】

経済の急速な悪化に歯止めをかけ、府民の暮らしの不安をやわらげるために、「京都府第2次緊急経済対策」を中心にした予算を編成し、可決しました。

50億円
追加融資枠
400億円

平成21年度予算は「未来の元気な京都を実現させるためのエネルギー補給」だと考えます。このエネルギーが1円の無駄もなく府民の皆さんを温めるために使われるように、3月24日

での府議会定例会で徹底的に話し合い、正しい選択を行いたいと思います。

京都府と府民の皆さまが協働し、地域での活動が活発になるために、わたなべ邦子は活動してまいります。

山田知事や同僚議員とともに近畿地方整備局の説明を聞きました



調査

淀川水系の河川整備と治水対策について 桂川・宇治川の現地調査

淀川水系河川整備計画案に関する桂川・宇治川の調査を、山田知事、近隣の市長、町長、議員とともに行いました。桂川で最も安全度が低い「久我橋下流域」を見て、河道内にしげる樹木の伐採と掘削を早急に実施すべきと感じました。

また、淀の宮前橋付近では、水害を防ぐための引堤事業で「水垂・大津地域」の皆さまが、住居を移転協力してくださり、新しい街

並みができている様子を知事に見ていただきました。今回の現地調査に参加して、治水対策や堤防強化など、多くの要望や対策が明確になりました。限られた予算の中で、どの事業を進めるかの判断は簡単ではありません。しかし、滋賀県、大阪府ともこれらの課題を共有し、府民の安全を確保できる事業に最優先で取り組めるよう、働きかけていきます。

平成21年 1月

視察
防災・暮らしの安心安全対策特別委員会
地震や食品偽装の対策を視察

わたなべ邦子が委員長を務める「防災・暮らしの安心安全対策特別委員会」で、防災科学技術研究所（茨城県）、農林水産消費安全技術センター（埼玉県）の視察を行いました。

防災科研では緊急地震速報などの成果や活用状況について見学。農業水産消費安全技術センターでは、食の偽装表示を監視するため

の分析検査や対策について学びました。また東京都議会を訪問し、地域安全マップづくりや青色回転灯をつけた車による防犯パトロールの取り組みについて意見交換を行いました。

全国での事例や対策、研究成果を参考に、災害対策、食の偽装防止、地域の安心の強化の実現に努めたいと考えています。



緊急地震速報の研究と成果について説明をうけました

平成20年 8月

陳情

京都府議会自民党議員団 京都縦貫道早期延伸を要望



国土交通省で、京都縦貫自動車道の必要性和地元の熱望していることを伝えました



京都縦貫自動車道は、縦貫と言ふものの、「丹波IC」京丹波わちIC」に見られるように、完全に一本化されていません。現在のところ、沓掛・大山崎ICを結ぶ京都第二外環状道路が平成24年、丹波綾部道路が平成26年に完成を予定しています。

自動車道が完全に完成することで京都の北と南の移動が容易になり、観光や産業で様々な交流が生まれ、京都府全体の活性化が期待

できます。また大規模な災害時には物資の輸送や避難のルートとしても活用され、府民の安全安心に欠かせない存在になっています。

府議会議員団は、12月20日に国土交通省を訪問し、大臣や事務次官に対して支援を要請。一日も早い実現に向けて、国も全面的に協力していくとの表明を取りつけることができま

わたなべ邦子事務所

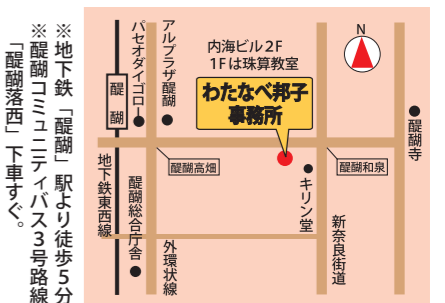


わたなべ邦子の議員活動や府政報告をタイムリーにお知らせするために、ブログを始めました。できるだけ毎日更新しています。ぜひご覧ください。

<http://kuniko.sblo.jp/>



携帯電話で読み取るとブログにアクセスできます。



TEL 075-573-0080